

<報道発表資料>
(経済同時)

令和 8 年 10 月 21 日
京都市産業観光局スタートアップ・産学連携推進室
(公財) 京都高度技術研究所 ICT 研究開発部

令和 8 年度 セキュリティ診断サービス事業の募集開始

～サプライチェーンの信頼性向上と SCS★3 取得に向けた現状把握・改善をサポート～

京都市及び公益財団法人京都高度技術研究所 (ASTEM) では、市内に拠点を持つ中小企業等を対象に、AI、IoT、ロボティクス等の導入・活用を促進するためのプラットフォーム「AI・ロボティクス・セキュリティ等導入促進プラットフォーム事業 (RAXSA (洛座): ラクザ)」を創設し、市内中小企業への啓発等を行っています。

近年、中小企業を標的としたサイバー攻撃 (ランサムウェア被害等) が増加傾向にあり、取引先から一定のセキュリティ水準が求められる機会が増えています。一方で、「自社の IT インフラがどうなっているかわからない」「IT 資産管理や構成図の作成・更新が追いついていない」といった課題を抱える企業が少なくありません。

この度、専門エンジニアの訪問・調査による現状の可視化から改善提案、SCS★3 (サプライチェーン・セキュリティ評価制度※) 獲得に向けた評価・伴走までを行うセキュリティ診断 (最大 20 社) の募集を開始します。

※サプライチェーン・セキュリティ評価制度 (SCS 評価制度)

独立行政法人情報処理推進機構 (IPA) が運営・管理する、企業のサイバーセキュリティ対策状況を共通の基準で評価・可視化する制度 (全 5 段階)。

「★3」は、すべてのサプライチェーン企業が最低限実装すべき対策とされている。

<事業概要>

●対象者

京都市内に主たる事業所又は事業拠点を有する中小企業等 (法人又は個人)。

●支援内容・診断の流れ (全 4 ステップ)

専門エンジニアが現地訪問し、自社の IT インフラ現状把握から成果物提供、SCS★3 評価に向けた改善までを一体で支援します。

ステップ	内容	実施事項
① 事前ヒアリング	調査範囲の確定	端末台数、拠点数、ネットワーク環境、既存資料の有無を確認
② 現地調査	エンジニア訪問	各 PC から情報取得、ラック内配線・スイッチ接続先・無線 AP を記録・確認
③ 分析・評価	リスク評価	SCS★3 の要求事項に照らし、リスクと改善優先度を評価
④ 成果物作成（※）・報告	下記成果物の提供・報告	経営層・IT 担当者へ報告会を実施

※成果物について

1. ネットワーク構成図
2. IT 資産台帳
3. 配線図
4. 現状分析レポート
5. 改善提案書（SCS★3 基準適合に向けたアドバイス含む）

● 募集期間

令和 8 年 10 月 21 日（水）～令和 8 年 12 月 25 日（金）17 時まで（定員 20 社に達し次第終了）

● 診断費用

無料（費用負担なし）

※PC 台数上限等の条件あり。

※追加費用の負担により追加診断項目（脆弱性診断や Wi-Fi 環境可視化等）の実施可能。

● 採択予定数

20 社

● 申請方法／提出方法

以下 URL もしくは二次元コードから申込みページにアクセスし、各種様式をダウンロードしてください。

URL : <https://raxsa.kyoto/overview/security-assessment/>

各種様式への入力完了後、同サイトにファイルをアップロードすると申込みされます。



< 注意事項 >

本事業に関する具体的な要件等は、申し込みページ内「令和 8 年度 京都市中小事業者向けセキュリティ診断サービス事業募集要領」をご確認ください。

<本事業に関するお問合せ先>

公益財団法人京都高度技術研究所 ICT 研究開発部

「京都市 AI・セキュリティ等導入促進支援プラットフォーム事業（RAXSA 洛座） セキュリティ診断サービス」事務局

E-mail : raxsa-sec-entry@astem.or.jp

※メールにてお問い合わせください。

<報道機関からのお問合せ先>

京都市産業観光局スタートアップ・産学連携推進室

電話：075-222-3324 メールアドレス：sanshin@city.kyoto.lg.jp